

# 単元づくりの4つのステップ に基づく

『言語活動パーフェクトガイド』（水戸部 修治調査官 編著） 参考

## 単元構想シート

		<b>単元名：人物の様子や気持ちを考えながら読もう ～中心人物ビフォア・アフター～ 「 走れ 」</b>																	
<b>&lt;ステップ1&gt;単元として付けたい力を確定する</b> ○年間指導計画（マトリックス表 年間単元重点一覧表）を活用して年間を見通した上で、この単元でどのような力を付けたいのか、学習指導要領の指導事項の中から確定する。		<b>指導事項</b> C（ウ）場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、 <u>叙述を基に想像して読むこと</u>																	
<b>&lt;ステップ2&gt;言語活動を確定する</b> ○ステップ1で確定した付けたい力を育成するのにふさわしい言語活動を適切に選定する。指導事項と言語活動を組み合わせて考えることで、付けたい力をできるだけ具体的におさえる。 ○言語活動を位置付けることによって、子ども自身にとっての相手意識や目的意識に応じた学習活動を可能にすることができる。		<b>言語活動</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;">                     中心人物ビフォア・アフター（5年生への説明会）                 </div>  ☆中心人物の気持ちの変化をとらえたうえで、お気に入りの本の中で中心人物に大きな変化がある場面を5年生に向けて説明会を開く。																	
<b>&lt;ステップ3&gt;言語活動を遂行するための能力をリストアップし整理する</b> ○取り上げた言語活動をもとに、付けたい力を具体的なレベルで明らかにしていく。その能力の全てを1つの単元で重点的に指導するのではなく、下記の点のさびわけが必要。 <b>① 該単元で重点的に指導するもの</b> <b>② 前単元までに既に身に付いている能力なので、当該単元では、それを活用させるもの</b> <b>③ 子どもたちの実態に照らして、まだ指導するのは難しいため、重点的に扱うのは次単元以降に回し、本単元では手厚く手立てをとり、活動が円滑に行われるように支援するもの</b>		<b>必要な能力</b> ①<重点>叙述を基に、中心人物の気持ちの変化を読む力 ②<既習>話のあらすじをとらえる力。 登場人物の行動や人物同士の関わりから、性格をとらえる力。 ③<支援>中心人物の気持ちが変わった場面やその理由をまとめて、伝える力。																	
<b>&lt;ステップ4&gt;リストアップした能力を育成する指導過程を構想する</b> ○子どもの実態を十分踏まえた指導過程の構想が大切。陥りがちなのは、「読むこと」において、単元の第三次での言語活動は活発に行えるように指導過程を組むが、第二次で教材文を読む時は、段落ごとに平板に読み進めてしまうというケース。第二次においても、子どもたちの「気になる」「不思議」「調べたい」などといった主体的な思考や判断を生かせるような場の設定が重要。 ○教材を読む第二次では、場面や段落ごとに読み進めるのではなく、指導事項に対応した指導過程を工夫する。 <b>&lt;教材を読むポイント&gt;</b> 物語文・・・「登場人物の行動」「登場人物の性格」「中心人物の変化」 「情景・心情描写」「優れた叙述」 説明文・・・「順序」「中心となる語」「事実と意見の関係」 「要旨」「自分の考えを明確にして読む」など		<b>単元計画</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">一次</td> <td style="text-align: center;">1時間</td> <td colspan="2">① 教師のモデル「中心人物ビフォア・アフター説明会」を見て、単元のゴールイメージを持つ。教材文を読み、あらすじや中心人物をおさえる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">二次 (A B ワンセット)</td> <td style="text-align: center;">6時間</td> <td style="text-align: center;">A (教材文)</td> <td style="text-align: center;">B (自分が選んだ本)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>                     「中心人物ビフォア・アフターに向けて」                      ② 登場人物の性格について考える。                      ④ 中心人物の変化を読む。                      ⑥ 「走れ」のビフォア・アフター説明会を開く。                 </td> <td>                     ③ 自分の選んだ本の登場人物の性格について考える。                      ⑤ 自分の選んだ本の中心人物の変化を読む                      ⑦ 自分の選んだ本のビフォア・アフター説明会の準備。                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">三次</td> <td style="text-align: center;">2時間</td> <td colspan="2">                     ⑧ 5年生に自分の選んだ本の「中心人物ビフォア・アフター説明会」を開く。                      ⑨説明会について、国語日記を書き、学習をふり返る。                 </td> </tr> </table>		一次	1時間	① 教師のモデル「中心人物ビフォア・アフター説明会」を見て、単元のゴールイメージを持つ。教材文を読み、あらすじや中心人物をおさえる。		二次 (A B ワンセット)	6時間	A (教材文)	B (自分が選んだ本)			「中心人物ビフォア・アフターに向けて」 ② 登場人物の性格について考える。 ④ 中心人物の変化を読む。 ⑥ 「走れ」のビフォア・アフター説明会を開く。	③ 自分の選んだ本の登場人物の性格について考える。 ⑤ 自分の選んだ本の中心人物の変化を読む ⑦ 自分の選んだ本のビフォア・アフター説明会の準備。	三次	2時間	⑧ 5年生に自分の選んだ本の「中心人物ビフォア・アフター説明会」を開く。 ⑨説明会について、国語日記を書き、学習をふり返る。	
一次	1時間	① 教師のモデル「中心人物ビフォア・アフター説明会」を見て、単元のゴールイメージを持つ。教材文を読み、あらすじや中心人物をおさえる。																	
二次 (A B ワンセット)	6時間	A (教材文)	B (自分が選んだ本)																
		「中心人物ビフォア・アフターに向けて」 ② 登場人物の性格について考える。 ④ 中心人物の変化を読む。 ⑥ 「走れ」のビフォア・アフター説明会を開く。	③ 自分の選んだ本の登場人物の性格について考える。 ⑤ 自分の選んだ本の中心人物の変化を読む ⑦ 自分の選んだ本のビフォア・アフター説明会の準備。																
三次	2時間	⑧ 5年生に自分の選んだ本の「中心人物ビフォア・アフター説明会」を開く。 ⑨説明会について、国語日記を書き、学習をふり返る。																	